

ヲ好シテ竹ヲ画ス高尚ノ氣象ヲツカラ風韻スルヲ画ヲ
求ル人甚タ多シ時ノ人中渠藤直李溪富ト併セテ
平安ノ四竹ト目ス晩年自ラ小枝ニ名アルヲ慙テ誓
画ヲオサス卒スル年五十八歳

謝長庚

姓ハ与謝名ハ長庚字ハ春星三果ト号シ蕪村ト
号ス近時ノ能画ナリ京師ニ住ス旁ラ俳諧ヲ唱ニ
夜半亭ヲ以テ行ル

補遺

西川忠英

姓西川名ハ忠英字ハ如見求林齋ト号ス寄陽ノ
人少シテ天文ノ學ヲ好シ皓首ニ至リテ廢セズ享保中
東都ニ徵セラレテ寄陽譯官ニ命セラレ卒スル年七
十七歳

著述

- 四十二國人物圖說
- 虞書曆象俗解
- 天文義論
- 日本水玉考
- 天文和歌注
- 町人囊
- 長寄夜話草
- 水玉解辨
- 華夷通商考
- 萬物性異辨斷

男正休

名ハ正休通名ハ忠次郎克ク家學ヲ繼テ家書ヲ訂正ス嘗テ天經或問ヲ訓点シ忠英ノ著セシ天學名目抄ヲ附シテ梓ニ授ク

中根元圭

姓ハ中根名璋字ハ元圭字ヲ以テ行ル通名ハ文右衛門京師ノ産ナリ曆算ノ學ヲ以テ聞ユ

著述

- 三正俗解
- 授持曆俗解
- 律原發揮
- 皇和通曆
- 七乘洋演式
- 曆算啓蒙
- 算法不作集
- 津聲曆

男彦脩

名ハ下字ハ彦脩通名安之丞ト号ス

著述

勲者御伽草帛 芋頭算法

元奎ノ女某マ多才女ニシテ克ク天學ヲ知リト其名ヲ詳ニセズ

天野信景

名ハ信景通祢治部尾州ノ人享保中ニ没ス年七十二著述鹽尻之記百卷アリ詩纂ニ天野景信ノ詩一首ヲ收ム恐ク此人ナシ

井澤長秀

剝後信阿

姓八井澤名八長秀蟠龍子ト号ス通祢七郎左衛門肥後隈本ノ人博洽ノ聞アリテ本藩ニ仕フ

著述

俗說辨

難字訓

漢字和訓

菊池軍記

武士訓

明君家訓

夫瓊矛記

女訓ニサ草

大和女訓

金蘭齋

字号ヲ詳ニス京師ニ講説ス老荘ノ學ヲ崇ニ生涯無為ヲ以テ境トス著述老子國字解

山鹿甚五左衛門

名八素行字八某東都人八少北条房州ニ任ヘ後

致仕シテ兵學ヲ唱フ故アツテ律ヲ犯シ淺野侯ニ幽セラル著述世ニイフ山鹿丞十八部ノ書トイヘルアリソノ目左ニトシ

兵法神武雄備集

武教要錄

手鏡要錄

備教要錄

山鹿語類

兵法或問

武教全書

聖教要錄

自得奧儀

治平要錄

武事記

武教餘錄

百結字類

謫居童問

七書諺解

古今戰畧考

武類全書

中朝事實

神道書

馬場信武

姓ハ馬場名ハ信武字某京師人易術ヲ以テ彰ル

著述

五經圖解

梅花心易掌中指南

斷易指南

易啓蒙圖說 周易指掌大成

看命一掌金和解

寺嶋良安

姓ハ寺嶋名ハ良安字ハ某浪華人

著述

三才諸神本紀

濟世靈

和漢三才圖會

神田白龍子

若和漢三才圖會
八十二卷

姓神田白龍子ト号ス東武神田人名稱ヲ詳ニ其
學ヲ以テ聞フ

著述

七書但諺抄

武家名數

諸家名數

新井白蛾

姓ハ新井名ハ祐登字ハ謙吉号ハ白蛾古易館ヲ以
通稱ス東都ノ産ナリ少シテ淺見綱齋ニ學ブ壯年
ニ及テ自ラ漢ニテ曰言行ニ苦シテ身ヲ風塵ノ中ニ驅
レシヤトイニ百家ノ書ヲ讀シテ儒名ヲ去ツテ居ラス蓋シ
易ヲ讀テオク一旦醒悟スルヨリテ一家言ヲ久易術
ヲ以テ四方ニ聞フ老來マタ大ニ程朱ヲ尊信スト云リ

寛政中ニ賀藩ニ蒞任シ不日ニテ没ス七十餘歳

著述

古易断内外篇

古易断時言

時言外篇

易學類篇

易學小笈

古易一家言

古易精義

梅花心易評注

聖學自在

周易精蘊

古易通

牛馬問

煙霞綺談

闇ノ曙

唐詩兒訓

石田勘平

姓ハ石田名勘平字号多詳モス心法ノ學ヲ以テ愚者ヲ教化シ都鄙問答齋家論ヲ著ス門人ニ手嶋某アリ共ニ京師ノ人ナリ

日本諸家人物志

此書は日本の儒医和学を以て撰ぶ法家の名称行定著撰の由りてはたしむるべきなり

一冊

同 續篇

右の如きものをもつて世の一助とす

一冊

漢土諸家人物志

東漢以来の儒医書画を高人の行状著述法帖亦委考る

三冊

寛政十二年庚申正月改刻

書林

江戸日本橋通南丁目
須原屋茂兵衛
大坂心齋橋南交差寺町南入
河内屋八兵衛
金順慶町寺目
柏原屋與左衛門

281

示義長字伯養來江元及壯仕中川慶亡何辭去乃常樂隱駒也
始釋老後王陽明始來肇陽時習堂在兒人室永三八月廿日設
年七歲者一歲設寺今書省又姓字江元年達宗考寺

洞巖名義和字子嚴佐之向氏仙人另大白少歡誦
洞志

澗州名義質字子敬形井氏老曰即洞巖男仙傳
卷也

明治十五年三月廿六日以三浦若海手澤本於東郡富居所

菅紀一郎藏